

# 松蔭 校長室だより

2025年 1月 8日 発行

—校長から保護者の皆様へのメッセージです—

松蔭中学校・松蔭高等学校

校長 浅井宣光

あなたの平和の器（うつわ）にしてください。 主よ、私をあなたの平和の器に。 憎しみあるところにあなたの愛があるように、悲しみあるところによろこびがあるように。 絶望あるところに希望の道があるように。 暗闇あるところに光が満ちるように。

(聖歌417番歌詞より。アッシジの聖フランシスコ「平和の祈り」)

## 新しい年に平和を祈る ノーベル平和賞

昨年、日本原水爆被害者団体協議会がノーベル平和賞を受賞しました。このニュースについて昨年2学期の終業式で次のように触れました。

「今日は2学期最後の日ですが、ちょうど10日前、海外メディアのトップニュースにある日本語が流れました。それは“NIHON HIDANKYOU”という単語です。英語ニュース、フランス語ニュース、スペイン語ニュースでもこの日本語が報じられました。『日本原水爆被害者団体協議会』、略して『日本被団協』がノーベル平和賞受賞者に決まり、12月10日、ノルウェーの首都オスロで受賞式が開催されました。ノーベル賞は、ダイナマイトを発明したスウェーデン人化学者、アルフレッド・ノーベルの名を冠した100年以上の歴史がある賞です。ダイナマイトとは爆薬のことで、人を殺す武器、兵器として使用され、ノーベルはこの商品の販売で大金持ちになったのです。彼は、破壊力のあるダイナマイトが戦争の抑止力になると考えていましたが、結果として世界中の戦場に、一層悲惨な様相をもたらしました。多くの命を奪う兵器の発明者との評価が定着してしまった彼は、その反省に立って遺言という形で未来の発明家や研究者たちのためにノーベル賞を設立しました。

『日本被団協』は、1945年の広島、長崎の原爆投下による被爆者、関係者が結成した全国組織です。中学3年生の生徒の皆さんは、岡邊好子さんの講演を1学期に聴きました。岡邊さんは高校1年生、15歳の時に広島で被爆し、家族を失いました。講演会では、被爆体験とその後の人生の歩みについて話されました。講演の締めくくりには「みんな今、ほんとうに幸せだよ」「とにかく勉強しなさい」「勉強し過ぎて死んだ人はいない」とエールを送っていただいたことを覚えている人もいるでしょう。彼女も日本被団協のメンバーです。

原爆などウランやプルトニウムを原料にした巨大兵器は核兵器と呼ばれます。『日本被団協』は、原爆を投下したアメリカに報復したり、憎しみの心を持ったりすることではなく、家族を失い、自分の健康を壊され、差別を受けた体験を語ることで、核兵器廃絶を訴えてきました。核兵器は不要であり、人間と核兵器は絶対に共存しない存在だと叫んできたのです。現在、世界中に1万2千発の核兵器が存在していますが、広島と長崎への投下以来、1度も戦争で核兵器は使われていません。その理由のひとつに『日本被団協』の活動があったということにも思います。“SUSHI”“RAMEN”“TEMPRA”“MANGA”“ANIME”“EMOJI”などの日本語が世界の共通語になっていますが、「NIHON HIDANKYOU」も反核と平和の象徴として、世界に通じる言葉になるのではないかと思います。

世界各地で紛争、戦争が続き、「戦争の世紀」と呼ばれる20世紀とさして変わらぬ状況の下で迎えた新たな四半世紀。世界に向けてノーベル賞の主宰者が平和のメッセージを発信しました。授賞式の記念スピーチでは「10年先には、直接の体験者として証言ができるのは数人になるかもしれません」とも語られました。新学期の始業式に出席する生徒一人ひとりの姿に、次代の「ピースメーカー」すなわち「平和をつくる人」の姿を重ねます。



<ピースツリーに寄せられた生徒メッセージ>

### 3 学期の予定

各学年、コースごとの行事については別に連絡があります。

1月17日(金) ①校時始業前、阪神淡路大震災記念礼拝を講堂で行います。中高とも通常の礼拝時刻の登校です。来週末より中学入試期間にはいますので、1月18日(土)、1月20日(月)は自宅学習日になります。また、2月10日(月)は高校入試のため、中学3年生(基礎学力判定試験を受験)を除く学年は自宅学習日です。

2月4日(火) 14時~15時30分 第3回「保護者おしゃべり会」を予定しています。今回は相談室の梅野カウンセラー担当です。「自分の『つよみ』を考えてみよう」を話題に、生徒対象のプログラムも紹介する予定です。後日、Classiにてご案内します。